

コメント

1. 感染性胃腸炎

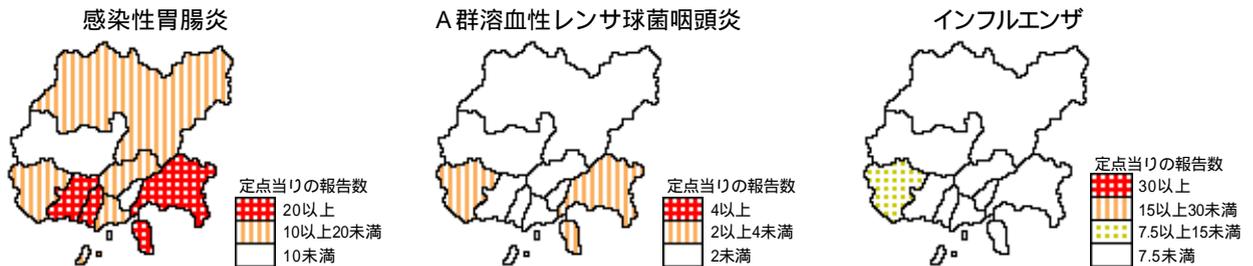
定点当り4.83人とやや増加しています。第2週以降、増加傾向が続いています。中区23.67人、西区、安芸区ともに20.00人と特に多く、東区、佐伯区ともに17.33人、南区12.33人、安佐北区10.67人となっています。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.13人と増加しています。佐伯区3.00人、安芸区2.50人となっています。

3. インフルエンザ

定点当り5.24人と急減しています。



4類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	平均 過去3年間 (注1)	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	平均 過去3年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ	194	5.24	11.89	↓	麻疹(注2)	-	-	0.11	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.10		流行性耳下腺炎	8	0.33	0.74	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	1.13	1.17	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	356	14.83	12.34	↗	流行性角結膜炎	9	1.13	1.00	
水痘	43	1.79	1.84	↗	急性脳炎(注3)	-	-	-	
手足口病	3	0.13	0.10		細菌性髄膜炎	-	-	0.05	
伝染性紅斑	1	0.04	0.13		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発疹	19	0.79	0.67		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.76	
百日咳	-	-	0.05		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.07						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37(小児科定点含む)
 小児科定点数 24
 眼科定点数 8
 性感染症定点数 9
 基幹定点数 7

(注1) 過去3年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 成人麻疹を除く
 (注3) 日本脳炎を除く
 (注4) オウム病を除く

1類~4類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
4	急性ウイルス性肝炎	1	1	男性(60歳)・A型
4	後天性免疫不全症候群	1	1	男性(57歳)

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A 群溶血性 レンサ 球菌咽 頭炎	感 染性胃 腸炎	水 痘	手 足口病	伝 染性紅 斑	突 発性発 疹	百 日咳	風 疹	ヘル パンギ ーナ	麻 疹(注1)	流 行性耳 下腺炎	急 性出血 性結膜 炎	流 行性角 結膜炎	急 性脳炎 (注2)	細 菌性髄 膜炎	無 菌性髄 膜炎	マ イクロ プラズ マ肺 炎	ク ラミジ ア肺炎 (注3)	成 人麻 疹
報 告 数	広島市	第5週	750	-	19	289	53	7	5	13	-	1	-	10	-	4	1	-	-	1	-	-
		第6週	413	-	17	323	41	3	5	22	1	1	-	13	-	11	-	1	-	1	-	-
		第7週	194	2	27	356	43	3	1	19	-	-	3	-	8	-	9	-	-	1	-	-
定 点 当 り	広島市	第5週	20.27	-	0.79	12.04	2.21	0.29	0.21	0.54	-	0.04	-	0.42	-	0.50	0.14	-	-	0.14	-	-
		第6週	11.16	-	0.71	13.46	1.71	0.13	0.21	0.92	0.04	0.04	-	0.54	-	1.38	-	0.14	-	0.14	-	-
		第7週	5.24	0.08	1.13	14.83	1.79	0.13	0.04	0.79	-	-	0.13	-	0.33	-	1.13	-	-	0.14	-	-
全 国	広島県	第5週	17.85	0.08	0.95	9.69	1.60	0.13	0.12	0.64	-	0.01	0.01	-	0.45	0.05	0.95	0.05	-	0.05	0.10	-
		第6週	11.36	0.07	0.63	11.13	1.57	0.11	0.13	0.53	0.03	0.04	-	0.41	0.10	1.40	-	0.05	-	0.10	-	-
		第5週	35.02	0.06	1.11	7.99	1.51	0.09	0.23	0.62	0.00	0.01	0.03	0.04	0.56	0.02	0.78	0.01	0.02	0.01	0.16	0.00
	第6週	29.03	0.07	1.04	8.90	1.81	0.10	0.20	0.59	0.01	0.01	0.03	0.05	0.44	0.04	0.72	0.01	0.01	0.02	0.15	0.01	

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

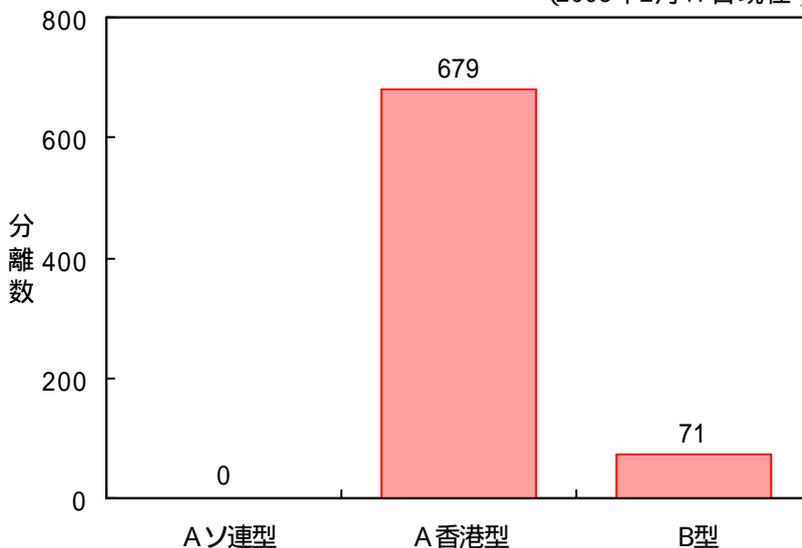
新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	0	女	東区	2003/01/13	鼻汁(拭い液)	アデノウイルス3型
インフルエンザ(疑)	2	女	中区	2002/12/22	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
腸重積	4	男	安佐南区	2003/01/08	糞便	アデノウイルス2型

(検査情報)

中国四国地区衛生研究所におけるインフルエンザウイルスの分離状況(2002/2003シーズン)

(2003年2月17日現在)



広島市では、A香港型が27株分離されていますが、A/Sydney型とB型は分離されていません。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2003年第7週(2月10日~2月16日)